

平成 29 年 宮城県内の火災概況（速報値※）

※総務省消防庁へ報告された火災情報を集計、確定値は例年 8 月頃に公表されます。

（平成 29 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで）

1 出火件数

平成 29 年の宮城県内の総出火件数は 724 件で、前年（734 件）に比べ 10 件（1.36%）減少し、出火率（人口 1 万人当たりの出火件数）は 3.13 で、前年（3.16）に比べ 0.03 ポイント減少しました。1 日当たりの出火件数は、平均で 1.98 件になります。

月別に見ると、4 月の出火件数が 105 件（全体比 14.50%）で最も多くなっています。また、四季別では昨年を引き続き冬期から春季にかけて火災が多く発生しています。

表 1 月別出火件数

区分	月別出火件数												総出火件数	出火率	1日当たり出火件数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
平成29年	49	61	92	105	68	36	53	44	62	37	57	60	724	3.13	1.98
平成28年	63	72	124	77	52	54	38	62	34	47	44	67	734	3.16	2.01
増減件数	△ 14	△ 11	△ 32	28	16	△ 18	15	△ 18	28	△ 10	13	△ 7	△ 10	—	—

（※出火率：人口 1 万人当たりの出火件数）

表 2 四季別出火件数

区分		四季別出火件数				合計
		春季	夏季	秋季	冬季	
平成29年	件数	265	133	156	170	724
	全体比（%）	36.6	18.4	21.5	23.5	100
平成28年	件数	253	154	125	202	734
	全体比（%）	34.5	21.0	17.0	27.5	100

春季3～5月，夏季6～8月，秋季9～11月，冬季12～2月

図-1 月別出火件数（平成 29 年・平成 28 年）

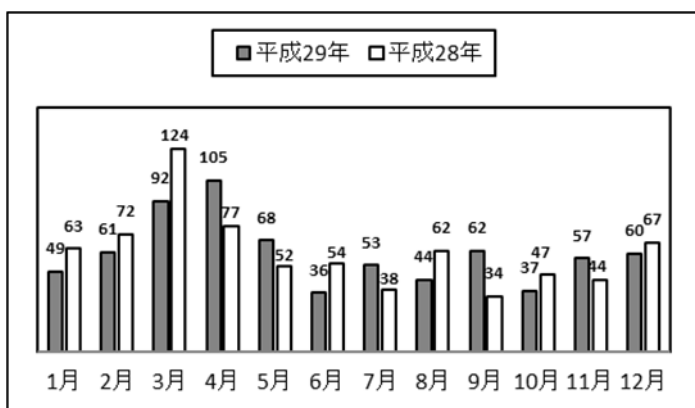
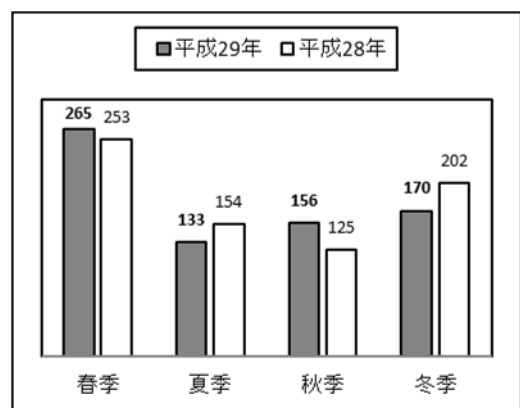


図-2 四季別出火件数



2 火災種別ごとの出火件数

建物火災が 362 件（50.0%）と最も多く、次に車両火災 95 件（13.1%）、林野火災 28 件（3.9%）と続いています。

表 3 火災種別出火件数

区分		火災種別出火件数						合計
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
平成29年	件数	362	28	95	0	0	239	724
	全体比 (%)	50.0	3.9	13.1	0.0	0.0	33.0	100
平成28年	件数	387	28	102	3	0	214	734
	全体比 (%)	52.7	3.8	13.9	0.4	0.0	29.2	100
増減件数		△ 25	0	△ 7	△ 3	0	25	△ 10

3 出火の原因

出火の原因の第 1 位は「放火」の 69 件、以下「たばこ」の 65 件、「こんろ」の 44 件、「電灯・電話等の配線」の 42 件の順となっています。

表 4 出火原因別一覧表

順位	出火原因	件数	火災種別内訳					
			建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1	放火	69	38	3	7	0	0	21
2	たばこ	65	34	4	3	0	0	24
3	こんろ	44	44	0	0	0	0	0
4	電灯・電話等の配線	42	18	0	0	0	0	24
5	放火の疑い	39	9	0	2	0	0	28
6	たき火	33	3	9	0	0	0	21
6	火入れ	33	2	3	0	0	0	28
8	排気管	28	1	0	27	0	0	0
9	ストーブ	24	24	0	0	0	0	0
10	電気機器	18	11	0	6	0	0	1
10	マッチ・ライター	18	10	1	4	0	0	3

4 死傷者

火災による死者は 29 人（うち放火自死者 8 人）で、前年（30 人）に比べ 1 人減少しました。また、負傷者は 115 人で、前年の 118 人に比べ 3 人減少しました。

5 火災損害額

火災による損害額は 1,942,279 千円で、前年（2,377,742 千円）に比べ 435,463 千円減少しました。